

別紙「工事のポイント」(重要)

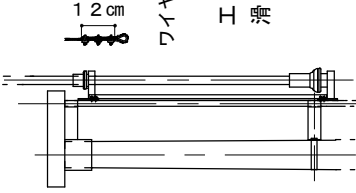
ワイヤークリップの処理について

ワイヤークリップの締め付けは、必ず次の方法で施工してください。
(2個以上のクリップを使用する場合も同じ方向に挿入します。)



この締め方は、クリップのリボルトがワイヤーを締めワイヤーを切断する場合があります。

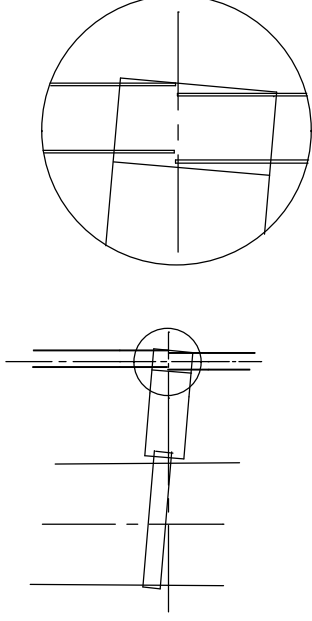
ワイヤークリップの止めかた



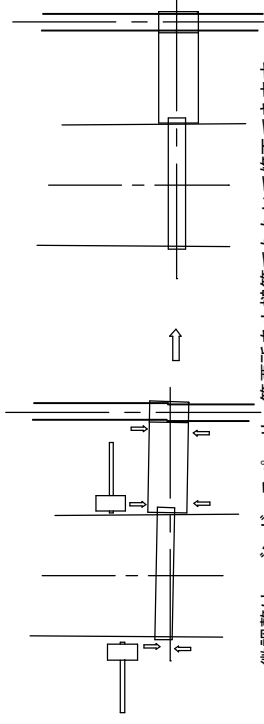
ワイヤーの折り返しは120mm程度としてください。

工事終了後、移動台を巻き上げ、ワイヤークリップと滑車の間隔があることを確認してください

P4 (昇降時クリックやひっかかりがあった場合の処置について) の図解
バンド・スペーサーが斜めに付いていると



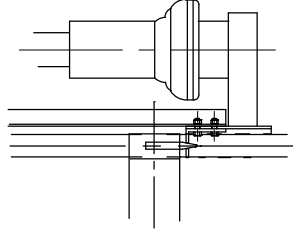
段差が発生し、引っ掛かりの原因になります。
バンドを修正し、上のレールと下のレール継ぎ目が直線になるようにします。



微調整は、バンド・スペーサー等要素を小槌等でたたいて修正できます。

移動台ストッパーの調整

ローテーター一台に取り付けた2個のストッパー(逆L字型)とスペーサー側の剣先がうまくかみ合うよう調整します。移動台を最上部まで上げてください。
剣先が穴の中央に来るよう、L字型金具を動かします。位置が決まったらボルトを締めてL字型金具を固定します。



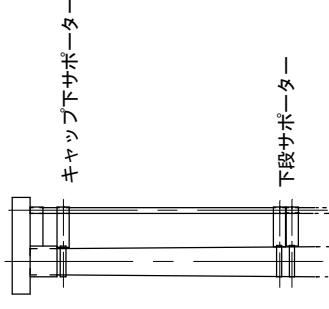
ご注意) 移動台が軽い(アンテナ等を積載してない)状態ではストッパーにクサビが食い込み移動台が降りてこない場合があります。
対策: 無負荷時最上部まで上げない。引き戻し用ロープを仮に装着

サポーターの増設について (オプション)

頂部に0~2番の小径パンザをご使用の場合、キャップとパンザの保持力を強化するためのオプションキットをお勧めします。(右図) 大型アンテナの設置にも効果があります。

価格 サポーター1ヶ所につき 11,580円

ご注意) キャップの中心と柱の中心がずれている場合、キャップ下サポーターのレール位置がずれ出てしまう場合があります。その時はキャップを前後に移動し、レールが最適に留められるよう調整します。



ワイヤーのブレ防止対策について

下降時、強風でワイヤーが風にあおられて大きく揺れる事があります。原因は、強風によるワイヤーの共鳴現象です。このような場合は、なるべく上でワイヤーをレールに共締めしてください。